



BEET 政府認証マフラー
NASSERT Evolution Type II

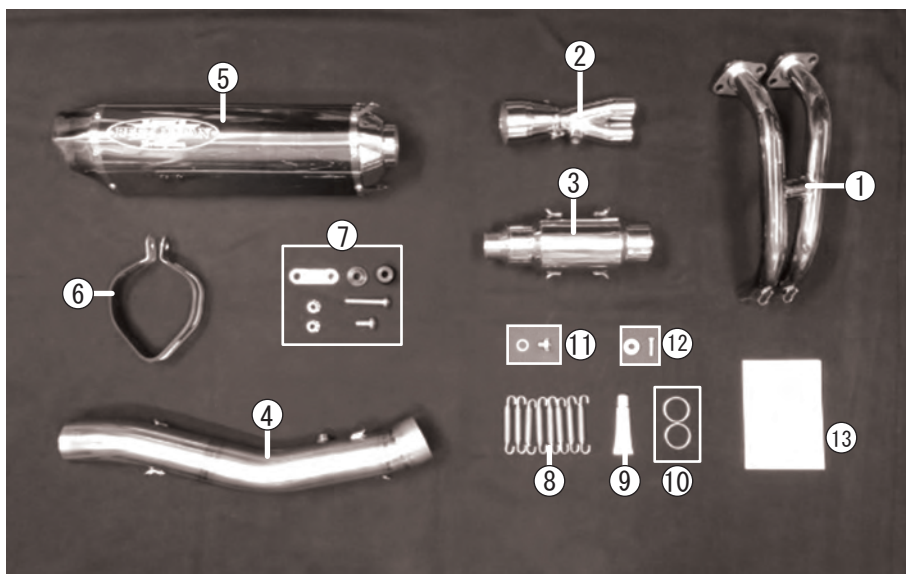
KAWASAKI Ninja400 ('23)

取扱説明書

▲ 注意 作業前に必ずお読み下さい。

パッケージの内容を下の写真でご確認下さい。

- 取り付け作業に関しましては、設備の整ったバイクショップ又は、パーツショップに作業依頼することをお勧めします。
- 取り付け作業者は、必ず取り付け説明の各項目、注意事項、部品構成を理解した上で、作業を進めて下さい。
- 作業をされたショップの作業者は、ノーマルパーツ及び説明書などは必ずユーザーの方へお渡し下さい。



① エキパイ	⑦ サイレンサーステーセット
② 集合部	⑧ スプリング
③ サブサイレンサー	⑨ 耐熱シリコン
④ テールパイプ	⑩ エキパイガスケットセット
⑤ サイレンサー	⑪ O ₂ センサープラグセット
⑥ サイレンサーバンド	⑫ アンダーカウルカラーセット
	⑬ 保証書セット

I ノーマルマフラーの取り外し



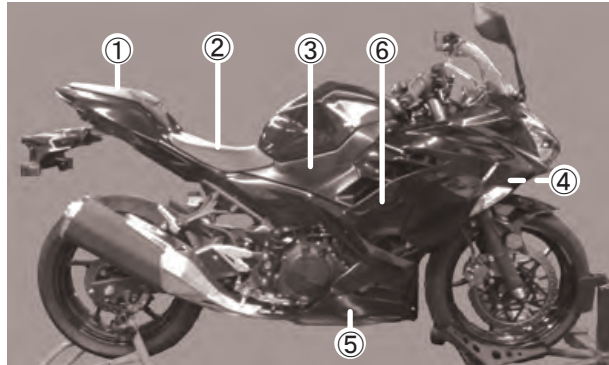
注意

走行後マフラーは非常に高温になっております。十分冷ましてから作業を行ってください。

【外装の取り外し】

以下の順に取り外します。

- ①リアシート
- ②フロントシート
- ③ニーグリップカバー
- ④インナーカウル
- ⑤ロアカウル
- ⑥サイドカウル



【ノーマルマフラーの取り外し】

O₂センサー前側、後側（8BLのみ）を取り外します。

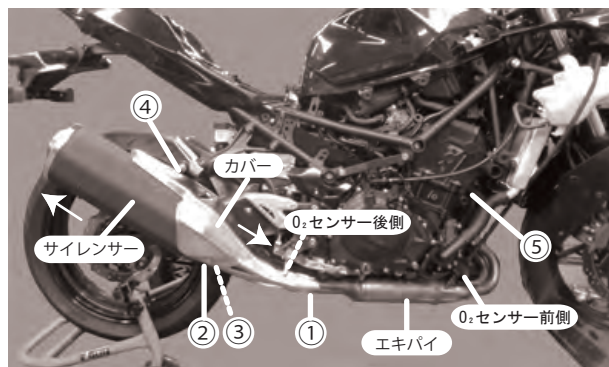
①②のボルトを外し

カバーを前方へスライドさせ取り外します。

③クランプボルト④ボルト、ナットを外しサイレンサーを後方へ取り外します。

⑤ナットを外しエキパイを取り外します。

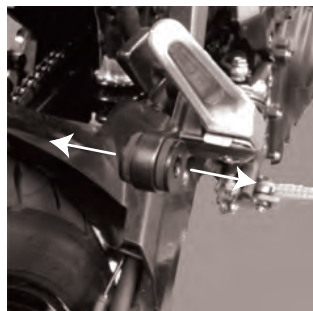
※⑤ナットはナサートマフラー取付時
使用します。



※O₂センサー後側は8BLのみ

II ナサートマフラーの取り付け準備

- サイレンサー取付部分のノーマルダンパーラバー、カラーを取り外します。

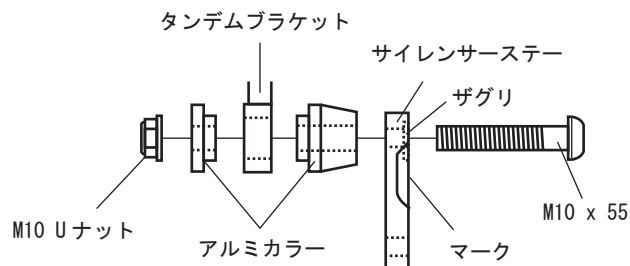


- 付属のダンパーカラーサイレンサーステーを取り付け仮締めしておきます。



※ダンパーカラー、サイレンサーステーは黒色になります。

上から見た図



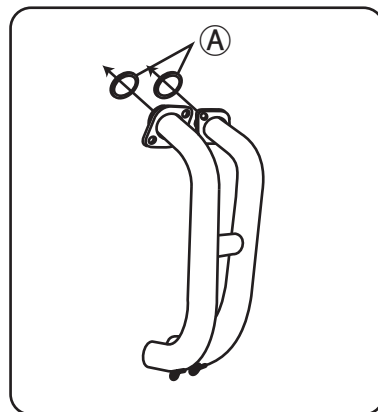
Ⅱ ナサートマフラーの取り付け 1

【エキパイの取り付け】

- エキパイガasketを付属①に交換します。

HINT 耐熱シリコンを少量塗っておくと落下防止になり取り付けやすくなります。

- ノーマルのナットを使ってエキパイを取り付けます。
仮止めの状態にしておきます。

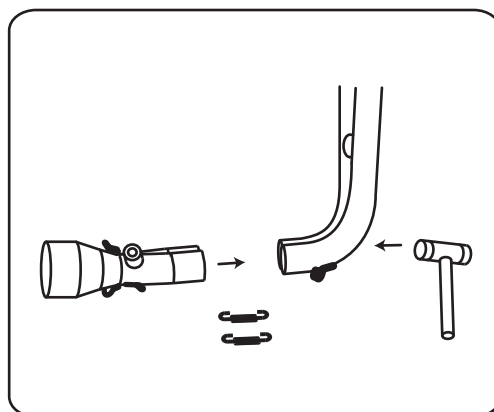


【集合部の取り付け】

- 組み立て時、差し込み部分に薄く耐熱シリコンを塗布してください。

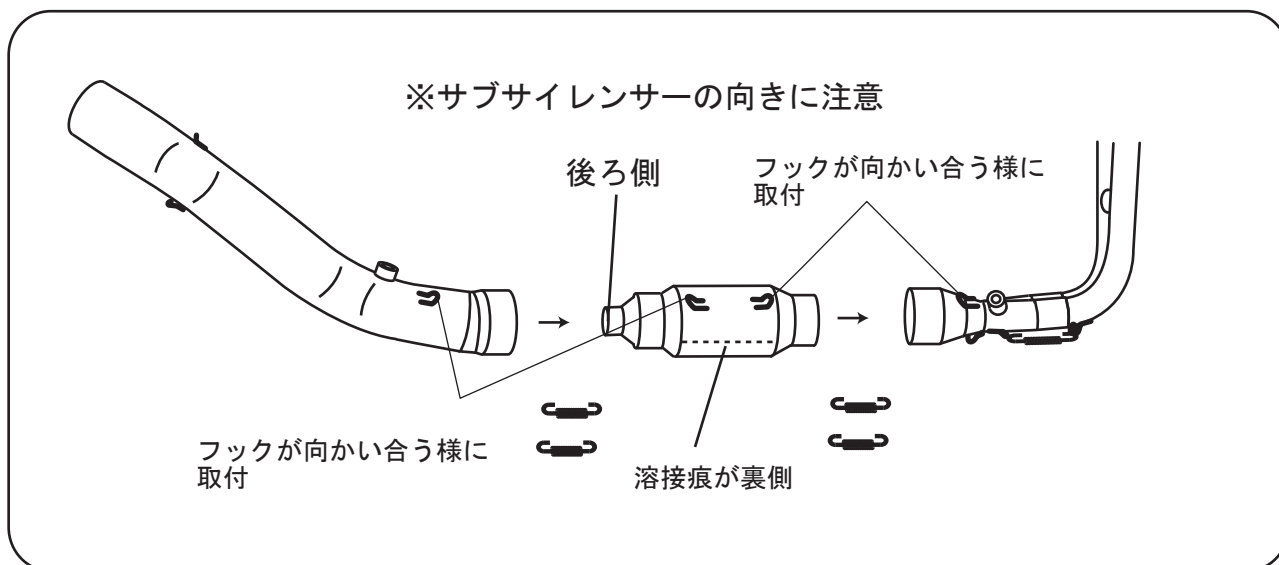
- エキパイに集合部を差し込みスプリング(2個)を取り付けます。

HINT 集合部のジョイント部分は高精度に出来ていますので、プラスチックハンマー等で軽く振動を与えながら慎重に組み立てます。



【サブサイレンサー、テールパイプの取り付け】

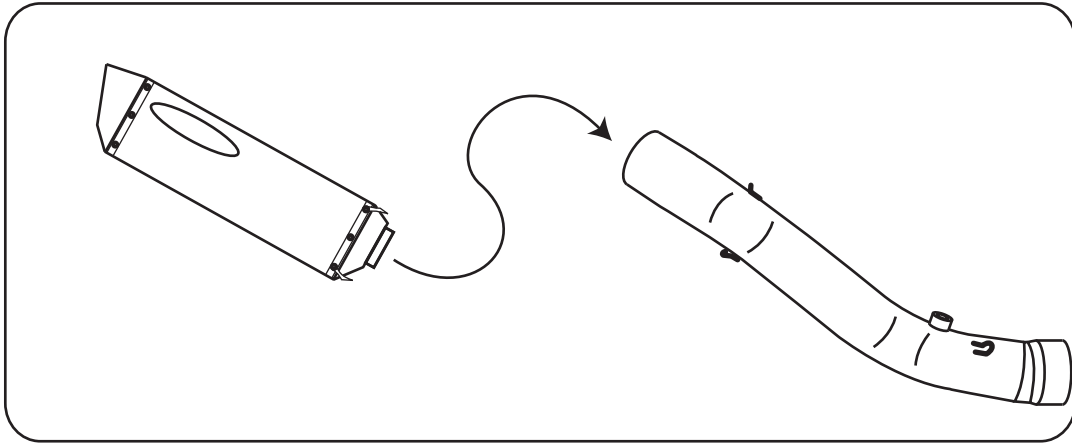
- 図のように取り付けます。



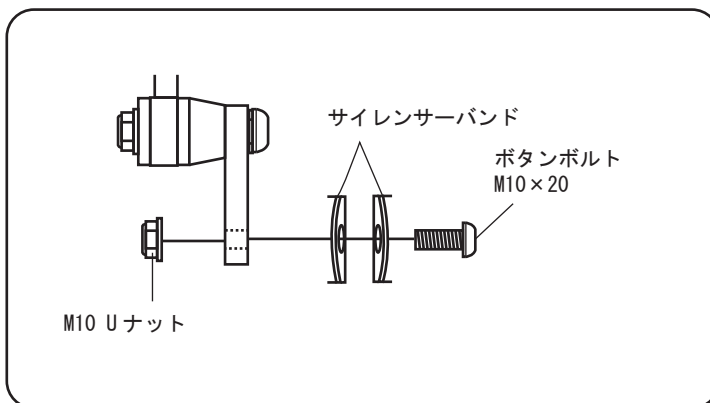
II ナサートマフラーの取り付け 2

【サイレンサーの取り付け】

- サイレンサーを取り付けます。



- サイレンサーにサイレンサーバンドを通し
サイレンサーバンドを図のように取り付けます。



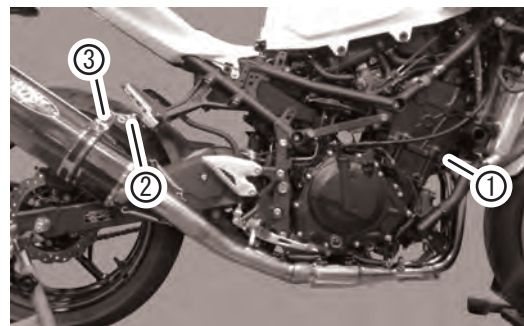
- スプリングを取り付けます。



【本締め】

次の順で本締めしていきます。

- ①エキパイフランジナット
- ②サイレンサステーとタンデムブラケット
- ③サイレンサステーとバンド



- ⚠** ① エキパイフランジナットは均等に締め付けを行ってください。
ボルト、ナットを痛めたり排気漏れの原因となります。

Ⅲ ナサートマフラーの取り付け

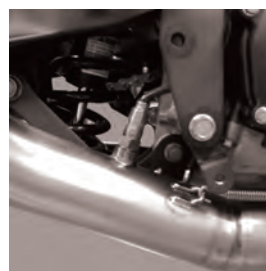
【O₂センサー取付】

図のように取付け、
配線をクランプし
元通りに結線します

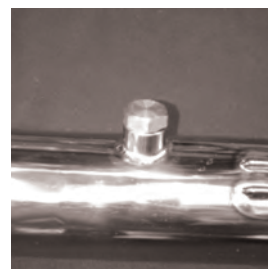
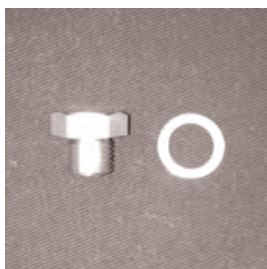
●前側



●後ろ側（8BLのみ）



※2BL は後ろ側（テールパイプ）に付属のボルトを取り付けて下さい。



【外装の取付け】

取り外した逆の順序で取り付けます。

アンダーカウルとサブサイレンサーが接触していないか必ず確認します。

接触している場合は付属のアルミカラーを取り付けます。

※確認箇所



5t アルミカラー
M6x20 ボルト



フレームとアンダーカウルの間に
アルミカラーを入れて
ボルトを付属のものに交換して
取り付けます。

- 各部ボルト、ナットの締め忘れがないか、干渉しているところがないか再度確認します。
- 本締めが完了したらエンジンを始動する前に、マフラー全体をパーツクリーナー等で脱脂します。

⚠ 油分が付いたままマフラーに熱が入ると焼き色にムラが生じます。

- エンジンを始動し排気漏れがないか確認します。

⚠ エンジンを始動する時は、換気の良い所で行ってください。

- 全てのボルト、ナットは定期的にチェック、増し締めを行ってください。